

第80回国民体育大会青森県準備委員会総務企画専門委員会

第1回開催基本構想策定検討部会 結果概要

- 1 日 時 平成30年1月22日(月) 10:30～11:30
- 2 場 所 県庁舎北棟2階A会議室
- 3 出 席 戸塚部会長、嶋口部会委員、小笠原部会委員、
高山部会委員、茂木部会委員、齋藤部会委員 以上6名

4 概 要

○挨拶

和嶋事務局長による挨拶

○部会委員等紹介

部会委員等の紹介

○第80回国民体育大会開催基本構想(素案)の検討

事務局説明後、検討を行った(内容は以下のとおり)。

・体系について

意見等無し

・はじめに

茂木部会委員：とても分かりやすく、言葉もよく伝わってきて、ちょうどよい文の量であって良いと感じた。

嶋口部会委員：前はあすなろ国体であったが、今回はそういった愛称やスローガンはいつ決めるのか、また、今回の開催基本構想との関係はどのようなになるのか。

事務局：愛称やスローガンについては、来年度(平成30年度)に募集することとしている。開催基本構想を先に策定し、その内容も踏まえ愛称やスローガンを募集できればと考えている。

齋藤部会委員：今の若い人達にとって国体は、「国体なんだ」(直接関係しない)くらいの気持ちでいるので、あすなろ国体があったことなどを盛り込んでいただくことで、興味・関心を持ち、参加していこうという気持ちを持っていただけたらと思うので良いと思う。

高山部会委員：3段落目の「48年ぶり」のところについて、およそ50年ぶりということになると思うので、もっと強調しても良いのではないかと思う。それと、あすなる国体は完全国体ということで、「冬季、夏季・秋季の全種目を同一県内で開催」と記載があるが、次の3ページで夏季と秋季が統合され2会期と記載されているので、そのことを最初にも記載した方が良いと思う。

茂木部会委員：(2会期の件については)後の方で出てくるので、最初はできるだけ短めで皆さんに読んでいただいた方が良いのではないか。若い人達にも関心を持って読んでいただくことも考え最初はこのままで良いのではないかと思う。

戸塚部会長：最初の部分では、あまり細かい部分は言及しないということでもろしいか。

高山部会委員：問題ない。「48年ぶり」については強調した方が良いと思う。

戸塚部会長：「はじめに」の部分は基本的には伝わりやすくということが大事であると思うので、このままでということ、「48年ぶり」というところで何かより強調できるかも含め事務局一任ということが良いか。

全 員：了解

・第1章

<1 国民体育大会とは>

小笠原部会委員：県内で幅広く競技が実施されることが良いと思っているので、早い段階で正式競技以外にも競技があるということが記載されていることは良いと思う。

齋藤部会委員：デモンストレーションスポーツとはどのような競技があるのか。

事務局：パークゴルフやペタンク、ウォーキングなど、本県でいえば7月に開催している県民スポレク祭の競技がそれにあたる。約30競技くらいあるので、正式競技の開催が難しい町村でも国体に参加していただくということで、できるだけ多く開催できればと考えている。

戸塚部会長：デモンストレーションスポーツは今後決まっていくものであるので現時点で具体の競技を記載するのは難しいということが良いか。

全 員：了解

< 2 国民体育大会のあゆみ、3 国民体育大会の課題と改革、4 青森県での開催意義 >
意見無し

・ 第 2 章

小笠原部会委員：レガシーという言葉はインパクトがあるがどういったことなのか、具体的に県民に分かりやすく説明した方が良いのではないかと思います。

茂木部会委員：第 3 章で太字（取組項目）としているところが、国体を開催してそれで全てではない、先に繋がっていくものであり、それが遺産だと読み解いたがいかがか。

戸塚部会長：開催基本方針でレガシーに対する説明があるものの、それを見たと上で開催基本構想を見るとは限らないので、分かりやすくした方が良いと思う。開催基本方針を注釈で盛り込むか、文章で説明するかといった方法があるがその辺も含め修正することで良いか。

全 員：了解

・ 第 3 章

< 1 県民の誰もがスポーツに親しむ国体 >

意見等無し

< 2 県民が自発的、積極的に参加する国体 >

意見等無し

< 3 来県者を熱い心でおもてなしする国体 >

齋藤部会委員：「来県者を熱い心でおもてなしする国体」というフレーズが良いと思う。県民性もあるがそういったことが出ない部分があるので、こういった表現をすることでそれが行動に繋がり、(来県者に) 青森県っていいな、来て良かったなと思ってもらえると思う。

その他、意見等無し

・ 第 4 章

戸塚部会長：「スポーツが盛んな青森県」の実現の部分について第 4 章でいきなり出た感じがあるので、「はじめに」の部分でも触れた方が良いのではないかと思います。皆さんいかがか。

茂木部会委員：「はじめに」の部分に出ることで良いのではないかと思います。

嶋口部会委員：「はじめに」の部分で触れることは良いと思うが、第4章の内容自体は、これで良いと思う。

高山部会委員：「はじめに」の部分で「スポーツが盛んな青森県」をイメージさせることで良いと思う。

戸塚部会長：「はじめに」の部分に入れることで良いか。

全 員：了解

・全体

高山部会委員：ここ最近の本県の国体での成績（天皇杯・皇后杯）はどうか。また、基本的には施設面等で派手に行くのか、それともコンパクトにソフト面の充実を図るのか。

事務局：直近の天皇杯は35位、皇后杯は46位である。サッカーの活躍や冬季大会での成績が上位にあることによって順位が前回より上がったものの、ここ最近は40位台で推移している。今後、国体開催に向けて徐々に上がっていくことが望ましいと思う。施設については基本的に既存施設を活用することとしている。どうしてもできない場合は県外の既存施設を借りることも考えている。選手の活躍やスポーツによる健康づくり、競技会の運営等を支える人たちなどソフト面を充実させ、それが将来の県民へと引き継がれることで、健康な青森県となっていければ良いのではと考えている。補足として、今後、国の法律改正により、国民体育大会が国民スポーツ大会と改称される予定である。改正が間に合えば国民スポーツ大会の名称で策定をしたいと考えているので、御承知おきをお願いしたい。

以上